



News Letter

No. 16

2005年5月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

特集 レイバーネットに寄せられた意見

民営化がもたらしたJR 尼崎事故

4月25日、100人以上が死亡するというJR史上最悪の事故が尼崎で発生した。JRはこれまで「民営化の成功例」として喧伝されてきたが、その本当の姿が明らかになった瞬間だった。働くものがないがしろにされ、効率化だけが追求されているところに「真の安全」はなかったのだ。レイバーネット日本では、ホームページ・メーリングリストを通じてキャンペーンを展開し、すでに有志による事故現場レポートも寄せられている。5月27日には他団体と共催で、緊急集会を開催する。民営化政策がいまシャニムに推進されているが、民営化は何をもたらすのか、この機会に徹底して追及していきたい。以下は、寄せられた情報からの抜粋である。(松原明)



4月29日、尼崎脱線事故現場で撮影。事故調査が始まるなか、遺族関係者の献花がつづいた。(ビデオプレス・松原)

もうけ第一主義と厳罰主義が原因

田島 省三(国労闘争団)

JR西日本の大惨事の原因は、もうけ第一主義と厳罰主義にあると言っても間違いありません。オーバーランした後の運転士は、処罰を恐れ、遅れを取り戻そうと、必死になって電車を飛ばしていたのではないのでしょうか。

当然、社長は責任を取って辞任することになるでしょうが、JR西日本の企業体質をつくった最大の責任は、会長の井出にあります。会長以下取締役会の全員が責任を取るべきです。辞職して償えるような問題ではありませんが。

同じような問題は、JRグループの全社に共通するものです。JRは本来の鉄道の使命に立ち返り、もうけより安全を優先すべきです。また、ゆがんだ労務政策を変更しなければ、今回のような事故を防止することはできないことを知るべきだと思います。

わたしは先日、福岡地震を経験しましたが、今回の「人災」というか、「企業災」の大きさには、あらためて慄然とする思いです。



労働者の立場からの公開質問状を

杜 海樹

マスコミでも、色々な評論や事実関係は報道されますが、労働組合からの視点、基本的人権からの視点での報道記事というのはまだ目にしていません。誰も書かないのなら、書くべきは私たちなのではないでしょうか。公開質問状くらい出していても良いのではないのでしょうか。

<次頁へ続く>



民営化がもたらした最悪の結末! JR西日本事故を問う緊急集会

<日時> 5月27日(金) 18.30 ~

<場所> 中野ゼロ視聴覚ホール

(中野駅南口5分・03-5340-5000)

<内容> ・毎日放送検証番組「消えたレール」
一部上映・お話 立山学(交通ジャーナリスト)
/ JR現役運転士・ディスカッションなど

<参加費> 500円

<共催> レイバーネット日本/鉄建公団訴訟原告団/
郵政労働者ユニオン/ATTAC Japan/日本消費者連盟/
APWSL日本委員会/協同センター労働情報/ビデオプレス

<連絡先> レイバーネット日本

TEL03-3530-8590 http://www.labornetjp.org

23歳の(大卒1年の年齢)青年に運転手という責任を追わせることの是非はどうか? 教育・研修体制はどうなっているのか? 賞罰はどうなっているのか?・・・民営化はJRに何をもたらしたのか? JRのいう公共性とは何のことか? 交通機関はだれのためのものか? と改めて突きつけてみてはどうかと。



分割・民営化の最悪の結末

宮城全労協の声明

とりかえしのつかない事故が起きるのではないが・・・不安と予感が全国のJR現場にただよっていた。国鉄退職労働者たちも、顔をあわせるたびにその話題を口にしていた。営利至上主義が安全をおびやかす、労働強化が一触即発の危機を日常化させ、重大事故につながりかねないケースも発生していた。にもかかわらず、危険を指摘する現場の声は無視されてきた。事故は偶然に起きたのではない。JR西日本に特有のものでもない。JRそのものを、そしてこのような事態を許してきた交通政策、経済社会システムそのものを問い直さなければならない。

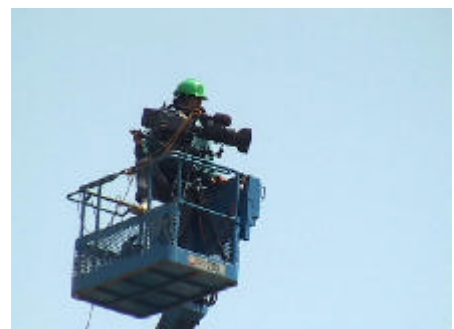
小泉首相は国鉄を例にあげて郵政民営化の正当性を主張してきた。「国鉄民営化によってサービスが向上し、ストライキもなくなり、利益もあげている」。このような発言を繰り返してきた小泉は、今回の事故の責任をとらねばならない。中曽根元首相は、国鉄労働運動と総評の解体が民営化のもう一つの目的だったと明言してきた。そのツケがこのような形で回ってきた。この大惨事はまさに、国鉄分割・民営化の結末である。中曽根もまた、分割・民営化の責任を明確にしなければならない。



JR会社が捨てたものは、第1に「公共性」 鉄建公団訴訟原告団

国鉄は、横文字でJNR (Japanese National Railway)と略称されました。JR会社によって捨て

られた真中のN (National) は、“国有の”とか“国民の”という意味で、文字通り国鉄は国民の財産であり、公共性が重要視されてきた交通機関でした。「公共企業体」としての国鉄から、公共性が捨て去られると利潤追求が第1となる企業性だけが残ることになったのです。



「儲ければ何でも」方式の会社は、輸送業務の一線で働くベテラン運転士や保線、駅業務に精通した労働者をホームのうどん店、ラーメン店、売店、ペンディングと呼ばれるジュース類の詰め替え作業に配属しました。しかも、その多くは国鉄労働組合に所属し、業務上でも中心的な存在であり、若い社員を育てる技術継承者としても現場で活躍していた仲間でした。

会社はこの先輩たちに若い社員を見習いにつけ、1人立ちすると本務から外してしまうということが日常茶飯行われました。1人前といっても、見習い期間中に全ての技術、知識が習得できるものではありません。同じ職場にいればこそ細かな経験も継承できるのです。

会社によるこの人事政策は、国労組合員に対する見せしめとしての意味を強く持っていました。JRになってからの旅客鉄道会社は、「公共性」を維持、発展させて行くことは非生産的であり、利潤を生まないから切り捨ててきたということです。

<P3から続き-総会報告>

させる

2004年1月にインドのムンバイで開かれた世界社会フォーラム2004に集まったアジア地域の労働運動活動家との話し合いで、レイバーネットアジア構想を提起した。韓国と日本のレイバーネットが提起して進めている。韓国の労働ネットのサーバーを使用してアジア各国の情報を提供するウェブサイトを作る。これをきっかけにしてアジア地域にレイバーネットのネットワークを作る。

5. 例会の年3回程度の定例化

昨年は、5月に「世界社会フォーラムと民衆ネットワークの可能性」、8月に『人らしく生きよう』パリ上映会報告&フランスの活動家との交流」をテーマに開いた。秋以降はレイバーフェスタの準備に追われてしまったが、年に3回程度は定例化する。レイバーフェスタで好評だった「3分ビデオ」の上映会も開く。

6. ニュースレターの定期発行

ニュースレターは定期的に発行されている。内容も充実させながら発行していきたい。

7. 関西をはじめ東京以外でのレイバーネット日本のネットワークを作る

大阪でのレイバーフェスタの開催を機にレイバーネット日本の関西でのネットワークができつつあるので、関西でも例会などを開き関西でのネットワークを強めていく。その他の地域でも可能性のあるところでは積極的にネットワークを作っていく。

8. レイバーネット日本の本の出版の検討

レイバーネット日本をより広く知ってもらい活用してもらうための本の出版を検討する。

9. NPO法人化をめざす

サーバーや回線の確保や財政の確立をはかるために、運動団体からの援助や公的援助(たとえば、パソコン教室の助成、海外交流の補助など)を受けやすいようにNPO法人化をめざす。

レイバーネット日本2005年度役員

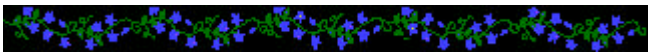
(印が付いている方は新規)

代表・伊藤彰信 副代表・松原 明 同・安田幸弘
事務局長・河添 誠 事務局次長・片柳悦正 同・
武田 敦 運営委員・浅井真由美/安斎徹雄/石川正志/
岩川保久/木下昌明/佐々木有美/神野圭介/高幣真公/
竹田和夫/田島省三/中野 聡/長岡義幸/西本敏子/
新田 進/広浜綾子/松浦 望/安田浩一/
八幡純一/同<大阪> 小山帥人/山原克二
会計監査・下見徳章

レイバーネット日本 第5回総会を開催 一日2000アクセスを目指す

2005年3月5日(土)午後、東京しごとセンタ(旧シニアワーク東京)5階第一セミナー室(東京・飯田橋)で第5回総会が開催された。冒頭、レイバーネット日本の代表・伊藤彰信さんがあいさつ。河添誠事務局長が活動報告を行った。活発な討論の上、一日あたり2000アクセスを目指すことを決定した。

第2部の記念イベントで青野恵美子さん(映像制作者)が報告と自ら制作したビデオ「市民的不服従ロサンゼルス、ホテル労働者の闘い」を上映した。続いて青野さんが持ち帰ったもう1本のビデオ「ブレッドアンドローズ」というアメリカ・ニューヨークの労働者文化運動を紹介した「celebrate MOE」を上映した。ビデオと青野さんの報告に関連した活発な討論がおこなわれた。日本においてどのような文化運動が広がっていったのか、それをどう継承してあたらしい運動とつなげていくのかなどの積極的な発言が多かったのは印象的だった。これからのレイバーフェスタの展開にもつながる活発な議論だった。



レイバーネット日本2005年度活動方針

1. 運動の現場からの情報発信をさらに進める

レイバーネット日本は2001年2月発足以来、4年間で432000ものアクセスを得ている。昨年総会時のアクセス数が256000なので、年々、アクセスは増えている。現在では、1日あたりのアクセス数は500を超えている。社会運動関連のウェブサイトとしては健闘しているといえる。このことは、マスメディアにはなかなか流れない労働運動や反戦運動や反グローバリズム運動の情報を海外からの情報も含めて掲載していることが評価されているということだろう。また、この1年間は反戦運動などへの権力弾圧も目立ったが、それについてもいちいちよく抗議行動関連の情報を流して、弾圧の不当性を訴えたことも重要だった。

厳しい雇用情勢にもかかわらず労働運動全体が低調なかで、この状況をなんとか変えていこうという個人・団体のネットワークとしてレイバーネット日本は一つの貴重な場になっているといえる。運動に参加している人自身が情報を発信するサイト運営が徐々に定着しており、イベントカレンダーなどへの情報提供が増えているのも重要である。今後とも運動の現場からの情報発信をさらにつよめる必要がある。

技術講習会を開催する。

初級者むけの技術講習会。昨年は、労働運動の現場活動家が必要な情報をインターネットから収集したり、電子メールで情報交換することができるようになるための講習会を開いた。講習会では、レイバーネット日本のウェブサイトへ情報を掲載することもおこなった。講習会参加者の中には、それ以後、積極的に情報を掲載している人も出てきている。短時間の簡単な講習でレイバーネット日本への情報発信も可能になるので、講習会をできるかぎり年数回は開いて情報発信者を増やしていく必要がある。

初級デジカメ講座。デジカメやデジタルビデオカメラの初歩的な撮影講座とウェブサイトへの掲載方法の講座も開く必要がある。写真が掲載されると単に文章だけではない雰囲気も伝わる記事になるので積極的にデジカメ講座を開く。昨年、初めての開催だった大阪のレイバーフェスタでもデジタルビデオ講座を開いて「3分ビデオ」を作成し成功した。レイバーフェスタとデジカメ講座とを結びつけて運動を展開していく。労働組合などへの「出前講座」も可能な限りおこなう。レイバーフェスタで上映した

3分ビデオを部分的に上映する労働組合も出てきている。上映会とビデオ講座とを結びつけて開く。

上級者育成のための技術講習会インターネット放送やレイバーネットアジアのウェブサイト管理を担えるような技術者を運動の中で育成していく。

職場ホームページ運動のよびかけ。かつて職場新聞運動というものがあつたが、インターネット時代は「職場ホームページ」が必要である。「すべての職場・労組にホームページを」を合言葉にインターネットを労働運動に持ち込む。



2. ウェブサイトの充実のために

昨年12月に新しいサーバーへレイバーネット日本のウェブサイトを移行した。それにより、これまで以上に使いやすいサイトになっている。さらに情報を充実させて使いやすいサイトにしていく。

インターネット放送の検討。すでに動画配信を始めているが、今年度はさらにインターネット放送の実現に向けて実験的取り組みを始める。

海外情報の充実、国内情報の海外への発信。インドのムンバイでの世界社会フォーラムでロンドン在住の日本人の方と知り合いになり入会していただいてイギリスの運動情報が増えた。海外在住の会員からの定期的な情報提供が充実してきた。海外情報の翻訳も少ないながらも掲載している。韓国は韓国情報は抜群に情報量がよく評価されている。日韓FTA反対闘争などでは、韓国からの情報を翻訳掲載することにより豊富な情報を流すことができた。他地域の運動情報も翻訳体制を整えて増やしていく。トップページ掲載の国内情報を英語で発信するようにしているが、翻訳体制の薄さから遅れ気味である。強化して対応したい。

文化情報の強化。運動の文化をつくりだすために、労働運動などに関わる映画・演劇・音楽などを紹介を進めた。映画批評家の木下昌明さんの協力も得て映画批評も連載した。フランスの音楽パフォーマンスグループ「ジョリモーム」の紹介など運動に関わる文化運動を積極的に紹介できたことは重要である。

3. レイバーフェスタ2005にむけて全面的に協力する

レイバーフェスタは、「3分ビデオ」を中心として大きく成功した。レイバーネットならではの映像を通じて連帯感をつよくもてるイベントとして参加者からも好評である。昨年は、3回目の開催になる東京だけでなく、大阪でもレイバーフェスタが初めて開催されたことも重要な成果であった。東京、大阪のレイバーフェスタと音楽を中心とした「げんこつまつり」とも連携して3ヶ所の労働者文化祭が成功したことは重要だった。特に「3分ビデオ」を観た人からは、ぜひ自分の労組でもやってみたいとの声が続々とあがっている。レイバーフェスタをこれまで以上にレイバーネット日本が中心として開催する企画として全面的に協力していく。

4. レイバーネットアジアのウェブサイトを発足

<P2下段に続く>

新作ビデオ・映画紹介



<ビデオ>

DVD『ジョリモーム路上コンサート』

「ジョリモーム」は、労働者や移民、路上生活者の闘いと連帯して活動しているフランスの劇団だ。その路上コンサートの様子が20分のDVDになった。これは、昨年ビデオプレスがパリを訪問したときに取材したもの。マクドナルドのストライキ支援の歌「マクドのマックスライキ」、9・11事件の本質をつく「すべてがうまくいっていたのに」など、彼らの歌はどれも笑いと諷刺を武器に資本主義や権力を徹底的にやっつける。そして観る者には勇気と希望を与えてくれる。制作ビデオプレス(03.3530.8588) 定価3,000円

それを端的に示した。しかし免職者とその仲間たちの闘いは、職場の中に新しい労働運動の波を作り出しつつある。68分 制作ビデオプレス(03.3530.8588) 定価6,000円

ドキュメント『オウトウロ・ムンド』(もう一つの世界)世界社会フォーラム 2005

2005年1月26～31日、ブラジルのポルトアレグレで「世界社会フォーラム」が開かれた。135カ国、15万人の参加者は、「もう一つの世界」を求めて環境、人権、戦争、経済、メディアなど、11のジャンルに分かれて、討議を行った。フォーラムにはブラジルのルラ大統領、ベネズエラのチャベス大統領も参加し、「もう一つの世界は可能だ」と語った。コミュニケーションは商品ではない。民衆の権利だ。

撮影・編集：小山紳人 VHS/DVD カラー 26分
定価 3,000円 送料・300円
販売：APWSL 日本委員会(047-467-1925)

『郵政クビ切り物語－4・28処分と郵政職場』

郵政の免職者たちは、当局からのクビ切り、そして全通からの追い出しにもめげず26年間闘い続けている。一方、職場は民営化の先取りで過労死さえ出ている。非正規職員は簡単に解雇される。労働組合が労使協調にかかわると何が起こるか、郵政の職場は

<映画>

『Little Birds～イラク戦火の家族たち』(綿井健陽監督作品)

これはすばらしいドキュメンタリー映画だと思います。イラクの人々の日常が戦争とその後の占領によってどのように破壊されたのか、イラクの人々がアメリカによる占領をどう考えているのか、など、ほとんどのマスメディアが報道しなかったことを余計なコメントも抜きに映像でたたみかけるように見せていく手法は見事だと思いました。これは娯楽として観るのではなく、運動の一環として映画を観て討論の輪を広げていく民衆にとって重要な武器となりうる作品だと思いました。(河添)

非常に感心しました。日本国憲法の起草に加わったベアテ・シロタ・ゴードン氏の回想を軸にしながら、男女差別賃金問題について、労働組合について、労働基準法について、職場差別について、参政権について・・・などを取り上げ映像で訴えかけてくる。映像としても貴重なものが見られます。憲法と労働との関係にスポットがあたっています。最後の「日本国憲法の本当の作者は歴史の叢智」というベアテ氏の言葉がとて心に残ります。(杜海樹)

『映画 日本国憲法』(ジャン・ユンカーマン監督、今年8月上映予定)

日本国憲法についてのインタビュー映画です。チョムスキー、ダグラス・ラミス、ジョン・ダワー、ベアテ・ゴードン、姜萬吉、班忠義、日高六郎・・・の各氏が日本国憲法について語ります。

『ベアテの贈り物』(藤原智子監督、岩波ホール上映中)

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円
郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403 レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578

年会費納入のお願い

期限が過ぎている会員には振込用紙を同封しましたので、早急に年会費(個人・団体とも3,000円)の納入をお願い致します。(事務局)



(イラスト：広浜綾子)